

令和8年度埼玉精神神経科診療所協会主催市民講座

ゲーム依存を考える



一昨年、昨年と2年間に渡り「引きこもり」をテーマとして取り上げてまいりました。今年、引きこもりとも連動する「ゲーム依存」について専門家をお招きし、市民の皆様とともに考えます。



入場
無料

第一部

「子どもたちはゲームの世界でなにをしているんだろう？」

大湫病院 児童精神科医



関 正樹氏

第二部

「ゲーム依存かもしれない」と思ったとき

依存症臨床からみた家族の関わり方
白峰クリニック 依存症専門心理師



金田一賢顕氏

第三部

質疑応答

日時

2026年

10月25日(日)

13:00 - 16:00

(開場12:30)

会場

武蔵浦和コミュニティーセンター
9階多目的ホール (裏面に案内図あり)

対象

市民、当事者そのご家族、医療・福祉
・心理・行政・教育関係者、学生等

【お申し込み方法】

申込は埼精診ホームページ <https://saiseisin.org>

またはQRコードよりお申込みください。

9月3日(木)～ 申込受付開始

定員(120名)になり次第終了します。



令和8年度埼玉精神神経科診療所協会主催市民講座

市民講座のご案内

埼玉精神神経科診療所協会（さいせいしん）は、埼玉県民のこころの健康を支える活動の一環として、毎年市民講座を開催しております。

これまで、依存症、周産期のメンタルヘルス、子どものこころ、神経発達症、死生観、ひきこもりなど、その時代に求められる心の問題をテーマに取り上げてまいりました。令和8年度の市民講座では、「ゲーム依存」をテーマに開催いたします。ゲームは今や多くの子どもたちにとって身近な遊びであるだけでなく、友人との交流の場であり、自己表現や達成感を得る場所にもなっています。一方で、生活リズムの乱れや学業への影響、家族との関係の悪化など、ゲームとの付き合い方に悩むご家庭も少なくありません。「どこまでが趣味で、どこからが依存なのか」「子どもたちはゲームの世界で何を感じ、何を求めているのか」を理解することは、適切な支援への第一歩となります。

今回は、子どものこころの成長を支える専門家であり、ご自身もゲームをこよなく愛している児童精神科医の関 正樹先生をお招きし、「子どもたちはゲームの世界でなにをしているんだろう？」をテーマにご講演いただきます。子どもたちの視点からゲームの魅力をひも解き、保護者や支援者が知っておきたい関わり方について、わかりやすくお話しいたします。また、埼玉県で多くの子どもやご家族への支援に携わっておられる、白峰クリニック臨床心理士・公認心理師の金田 賢顕先生にもご講演いただきます。地域の支援現場から見える現状や、子どもたちとの向き合い方についてお話しいただく予定です。講演後には、会場の皆様からのご質問も交えながらディスカッションを行います。ゲームとの上手な付き合い方を考え、子どもたちの心を理解するきっかけとなることを願っております。

ご本人、ご家族、教育・医療・福祉関係者をはじめ、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ

一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会

〒336-0017さいたま市南区南浦和2丁目28-16
ハイグレード南浦和402

電話：048-767-6215（火・木のみ）

FAX：048-767-6216

e-mail：saiseishin@saiseishin.org

さいせいしん

検索

武蔵浦和コミュニティセンター案内図

〒336-0021さいたま市南区別所7丁目20-1
武蔵浦和コミュニティセンターサウスピア
9F多目的ホール



サウスピア専用駐車場とサウスピア3階出入口はデッキで繋がっています



武蔵野線武蔵浦和駅徒歩2分

主催：一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会

共催：公益社団法人 日本精神神経科診療所協会

後援：埼玉県・さいたま市・埼玉県医師会・埼玉県精神科病院協会

